

「SENRITO よみうり」における自動デマンドレスポンスシステムの採用について

「SENRITO」の事業者である読売新聞大阪本社と読売テレビ、関電グループは、2011年度からスマートコミュニティの実現に向けた検討を進めてきましたが、このたび、「SENRITO よみうり」に、自動デマンドレスポンス（以下、DR）システムを採用することとなりました。

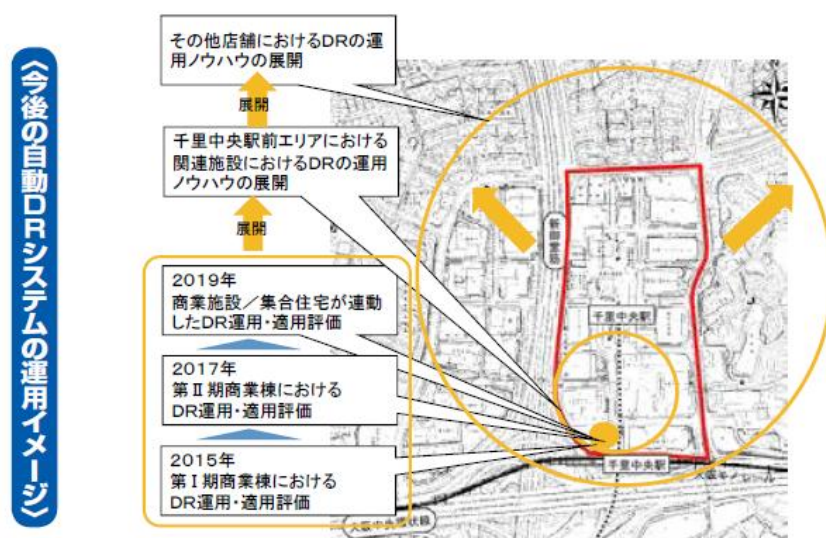
具体的には、関西電力から需要抑制の要請が発動された際に今回オープンする商業施設Ⅰ期のバックヤード部分の空調設備の設定温度を自動的に調整することにより、テナントの運営に影響を与えない範囲で電力需要の抑制を行う予定です。

自動DRに用いる制御機器については、海外で多くの実績を有するコンバージ社の製品を国内で初めて採用する予定であり、自動DRシステムの運用・制御については、施設管理を担当する関電グループのM I Dファシリティマネジメント株式会社が実施する予定です。

今回開業するⅠ期の商業施設において自動DRの実証試験を行い、その成果を踏まえて、2017年春に開業予定のⅡ期の商業施設および2019年春に完成予定のタワーマンションにも自動DRシステムの導入を検討していきます。

本事業におけるスマートコミュニティ構想については、環境省や経済産業省の各種補助事業に採択されるなど、実現に向けた取り組みを一層推進していくことが期待されています。

今後も、千里中央地区およびその周辺地域全体でのスマートコミュニティの実現に向けた検討を進め、地域全体のエネルギー利用の効率化や再生可能エネルギーの有効利用に貢献していきます。



■自動DRシステムに関するお問い合わせ先

関西電力 広報室報道グループ 川畑、大西
TEL 06-7501-0242